

平成 29 年度第 4 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 30 年 1 月 17 日 (木) 午後 2 時 00 分から
 場 所 日進市中央福祉センター 2 階 多機能室 北
 出 席 者 松本幸正 (会長)、古川寿雄 (委員)、川口洋子 (委員)、近藤博之 (委員)、
 松本謙治 (委員)、川原田真弓 (委員)、岡田英雄 (委員)、桑原良隆 (代理出席)、
 栃川和彦 (代理出席)、小宮山享 (委員)、近藤誠 (委員)、二村裕之 (委員)、
 寺田裕美 (委員)、青山雅道 (委員)、牧茂久 (オブザーバー)
 欠 席 者 古田寛 (代理出席)、多田直紀 (委員)、河合貴夫 (委員)、岩田尚也 (委員)、
 山田久義 (委員)、新見春子 (委員)、大竹弘真 (委員)
 事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (7 名)
 報 告 事 項 (1) 平成 29 年 4 月以降の運行実績
 (2) 平成 29 年度地域公共交通再編推進事業の実施結果
 (3) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価 (幹線系統)
 議 題 (1) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価
 (フィーダー系統・再編計画推進事業)

発 言 者	内 容 (要 旨)
	(委嘱式)
副 市 長 (挨 拶)	皆さま、こんにちは。本日はお足元の悪い中、定刻までにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。この地域公共交通会議はくるりんばすを始めとした公共交通ネットワークについてご議論いただく場でございます。昨年 4 月に全線再編を実施しましたくるりんばすを始め、名鉄や地下鉄などの鉄道や名鉄バスなどの民間バス、そしてタクシーも含めた様々な市民の移動についてご議論いただきたいと思っております。今回から始めて参加される委員さんもいらっしゃいますが、皆さんには忌憚のないご意見、利用者としてのご意見をいただければ大変ありがたく思います。 それではどうぞよろしく願いいたします。
	(新任委員の紹介)
事 務 局	本日は新しい任期での初めての会議ということでございますので、議事を進行させていただき会長が決まっております。つきましては会長選任までの議事を副市長が進行させていただきます。副市長よろしく願いいたします。
	(会長選任)
会 長	皆さん改めましておはようございます。引き続き会長に指名頂きました、名城大学の松本でございます。どうぞよろしく願いいたします。
	(副会長選任)

発 言 者	内 容 (要 旨)
副 会 長	皆さん改めましてこんにちは。松本会長より引き続き副会長にご指名頂きました。みなさんご異議等無いとの事ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。
事 務 局	それでは会議へ移りたいと思います。
	(会議公開・傍聴者入室)
事 務 局	実施要綱に従い、会長に議事の進行をお渡しします。
会 長	それでは議事の進行を務めさせていただきます。先程、日進市の副市長からもお話がありました通り、この地域公共交通会議は地域交通について皆さんで考え、皆さんで作上げていこうと言うものでございます。是非とも積極的なご発言をよろしくお願ひします。
	報告事項(1)平成29年4月以降の運行実績
会 長	まずは報告事項(1)平成29年4月以降の運行実績について事務局より説明をお願ひします。
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	全線再編後の状況と言うことで、最新の12月までの数字を報告いただきましたが、この件につきましてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。
委 員	初めてですので確認をさせていただきます。路線図では日進中央線は名鉄バスに色分けされておりますが、これはくるりんばすに含まれるのですか。 それから、4月に運賃の値上げをされていると思いますが、収入UPを目指して値上げしているにもかかわらず、全体の収入が減っているのは何故ですか。
会 長	ご質問の1点目、日進中央線につきましてはくるりんばすではございません。ただし、4月の改編前まではくるりんばすでしたので、比較の必要があるので表に載せております。 引き続き事務局から説明をお願いします。
事 務 局	会長からのご説明の通り、日進中央線につきましては去年4月に民営化を実施しております。一般的には民間での経営が苦しくなった結果、市町村へ運行が移管されるケースが多いのですが、その逆、将来的な収益性を見越しての民営化と言うことで、全国的にも珍しいケースとなっております。 中央線につきましては日進市の網形成計画に記載された計画路線ですので、その運行状況を我々は把握していく必要がありますので表にも記載しております。 ご質問の2点目、値上げをしたにもかかわらず収入が減少した理由につきましては、資料の表にもある通り、定期券・回数券の売り上げが大幅に伸びている点が大きいと考えております。例えば高齢者の1か月定期は1,200円ですが、これは往復で3回お出掛けされると元が取れてしまう価格設定になっております。また、今年度から、1人親家庭など無料対象の範囲を拡大しております、そういった利用者の割合が増加したことが収入の減少要因となっております。
委 員	売り上げを増やすことが目的では無く、利用者数を増やすことが目的で料金を上げたと言うことですか。

発 言 者	内 容 (要 旨)
事 務 局	<p>値上げ自体はサービスに対する対価として見合う額を頂くと言うことで実施しておりますが、一方で値上げによって苦しむ方も発生してしまいますので、それを補完する形で無料対象の拡大や、定期券の価格を安く据え置くといった政策を同時に打っております。値上げの効果とこうした福祉的な政策の効果と、どちらが大きく出るかによって収入は変わってくるものと考えております。</p>
委 員	<p>では、こういった方を無料対象者として増やしたのですか。</p>
事 務 局	<p>先程お話しした1人親家庭の他に、介護認定で要支援、要介護ではないが見守りが必要との認定が下りた方も新たに無料対象者としております。</p>
委 員	<p>無料対象者を増やしたにもかかわらず利用者は減っているのですね。</p>
事 務 局	<p>お示した通り、全体の利用者数は減っております。やはり、皆さん、前のダイヤに合わせて生活を組み立てておりますので、それが一旦崩れると再構築には時間がかかります。また、運賃も増額改定されておりますので、そのことも利用者数の減少に影響を与えております。前回の会議で値上げを行った他市町の事例を紹介させてもらったのですが、我々のように料金を倍額程度まで引き上げた場合、値上げインパクトだけで2割弱の利用者減となったケースもございます。これらの要因により利用者数は以前のレベルまでには回復していないと言うのが現状です。一方でプライムツリー赤池もオープンしましたので、これにより人の動きがどう変わっていくか、少なくとも半年程度は推移を見守らないといけないと考えております。</p>
会 長	<p>他にご意見、ご質問はございますか。</p>
委 員	<p>去年4月に大きくシステムを変更したが、それが上手く行っているのかいないのかを皆さんでチェックしないといけない。先程、天候不順の話やプライムツリー赤池のオープンの話が出てきたが、そんなことはシステムの評価には関係が無い。大事な事はこの制度が良いのかどうかである。それを検証する上で確認したいのは、目標はどうだったのかと、それに対し今どうなっているのかです。平成32年の目標はこちらに書かれていますが、今年度はどうだったのか。少なくとも表を見る限り、乗車数は減っている、収入も減っている。本当にこれで大丈夫なんですかと言うことなんです。その辺のことを説明してもらいたいです。</p>
事 務 局	<p>目標に対してどうであったかと言うお話については、後ほど自己評価の議題の中で説明させてもらうこととなりますが、ここで簡単にお話しますと、設定された目標は極めて高い数値となっております。この半年の数値をベースに比較すると、目標値には全く到達しておりませんし、前年度の数値にも達していないというのが現状です。</p>
委 員	<p>じゃあ、会議の資料の中に目標を入れてください。そこから議論じゃないですか。</p>
会 長	<p>その議論につきましては、後ほど議題の中で取り上げますので、そこの中で議論していきましょう。おっしゃられたことはもちろんだと思いますので、毎年、目標を立てて、評価をし、そして直すべきところは直す。その直すべき点については皆さんからご意見を頂きたいと思いますので、またよろしく願います。</p> <p>ただし、他の自治体で再編を実施している事例などを見ますと、再編後は一時的に</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>利用が落ち込むというところがあります。ところが数年立つと利用がぐぐーっと回復してくるといったことが良くありますので、あまりに短期に評価をしてしまうと逆に悪影響を与えてしまう事がありますので、そのあたりの兼ね合いを見ながらと言う事になるかと思えます。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>先程までのお話につきましては、日進市では再編実施と言うハードルの高い国の認定を受けて実施した経緯があります。その際にかなり効率化を図っている部分がございますが、同時に利便性の向上も図っております。しかし、このことを利用者の皆さんに理解していただく為には時間も必要ですし、更なる周知も必要ですので、やはり、あまり早くに結論を出すのはどうかなと思っております。プライムツリー開業の影響、お祭りの中止の影響などを含め、より詳しく分析した上で周知をしていくと言うことが重要であると思えます。</p> <p>そのような中、今日は少し早めに出まして、プライムツリーを見た後にくるりんばすの赤池線に乗ってここまで来たのですが、赤池からも多くの方が乗っておられましたし、バスの案内も非常に丁寧にやっておられました。私自身、今後のプライムツリーの集客に期待を寄せたいと思えますし、同時にこう言った良いものを作ったということをもっと周知してもらいたいと思えます。ただし、一方で危機感を持つということも重要でありますので、資料の 3 ページに赤池線、梅森線は大きく改善したと書いてありますが、まだまだ数字は厳しい状況ですので、ここの部分の表現は変えた方が良いのではと思えます。</p>
事 務 局	<p>3 ページの表現につきましては、赤池線、梅森線の利用状況に回復傾向が見られると言う表現に訂正させていただきます。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>確かに、昨年まで網形成計画、再編実施計画の策定に取り組んで来たのですが、収入を大きく向上させようと言う目標は無かったですよね。どちらかと言うと他と比べた受益者負担のバランスを取ろうと言うことだったと思えます。例えば医療費の自己負担は 3 割ですよね、それから日進市の様々な施策の中で福祉的な色合いが強いものは 25%負担、そうでないものは 50%負担、またスポーツセンターなどもかなりお金を払わないと利用できない。そう言った中で乗車運賃の負担率が低いだろうと言うことで、その適正化を図ろう。ただし一方で福祉的な利用をせざるを得ない人が多数いらしゃるので、そう言う方々に対しては安く提供していこう、更に無料の対象者を増やしていこうと言う狙いがあったと思えます。もちろん運賃収入が増えるに越したことはございませんが、何より我々にとって一番困るのは、利用せざるを得ない人が利用できなくなることであり、そういう人がいるのであれば大きな問題です。それをしっかり検証していくことが重要であると思えます。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
委 員	色々な人とくるりんばすについて話をしますが、すごく不便になったと言う声をたくさん聞きます。今日も買い物難民が増えてきたと言う話を聞きました。
会 長	買い物に行けなくなったとか、不便になったといった声が届いていると言うことであると思います。そういった意見をたくさん頂きながら、今後、直すべきところを直していくと言うことであると思います。
委 員	急に改編されたために不便になった、改編前は良かったが、改編後に不便になり買い物難民になったと私は認識しております。
会 長	<p>ありがとうございます。そう言う声もあります。一方で今回の再編で使えるようになったという声もあります。その全体をしっかりと見極めて見直していくことであると思います。</p> <p>それから重要なのは、何が不便になったのかです。市役所の同時発着が無くなったことが不便になったのか、ルートが変わったことで不便になったのか、ダイヤが変わったから不便になったのか、そこが分からないので、まずはそこを見極めましょう。そのためにはもう少しデータや実績が必要です。そういう声を事務局や我々も真摯に受け止めていきましょう。どうぞよろしくお願ひします。</p>
会 長	その他いかがでしょうか。
委 員	やはり前のダイヤの方が便利だったとおっしゃる方がすごく多いと思うんですが、以前の状態に戻すということは難しいのでしょうか。
会 長	<p>それも今の話と同じで、様々な状況を見極めながら判断していく事になると思います。良くなったという声、悪くなったという声、どう言う方々が不便になり、どう言う方々が利用されて見えるのか。そういったものを見極めたうえで、やっぱり前の方が良いよねと言うことになることはあると思います。場合によっては委員の皆さんに実際に乗っていただいて、その上でご議論を頂くというケースもあるかと思ひますので、またよろしくお願ひします。</p> <p>どうしていくかについては、あくまでこの場で決めていくこととなります。ただし、我々にとって大事なものは、ごくごく一部の方々の声だけで動いてはいけない、市全体、市民全ての声を、更に言えば路線バス、民間のバスやタクシーも含めた全体で良くなっていくよう目指していきたいと思ひます。</p>
委 員	今日も言ったんです。みんなもっと意見を出してよって。僕たちだけじゃなく、言った本人が意見を言うように伝えたんです。
会 長	そうですね。今回の再編案を決めるにあたっては、ワークショップや市民への説明会、パブリックコメント等、かなり沢山の意見を実は聞いてきたのです。それらを経てこれで行こうと決めた訳ですが、ただ残念ながらその途中途中ではなかなか声が出てこなかった。なかなか難しいです。ただ、先程申し上げた通り、まだ再編したばかりです。どうしても悪い声ばかりが出てくるのですが、実はすごく良くなったという声も数多く出ております。もう少し様子を見てみたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	その他いかがでしょうか。
委 員	もう少し時間を掛けてと言うのはその通りだと思いますが、これだけ数字が減っている。その説明が十分じゃない。原因が分かれば今の段階ではこういう手を打ちましょう、その上で更に半年待ちましょうという事になるんだと思います。何も手を打たないで待つと言うのは如何かなと思いますので、原因を見つけ、今から打てる手を打つ。プラン・ドゥ・チェックのサイクルを回して行くことだと思います。
会 長	<p>ありがとうございます。たぶん事務局では今、データを集めて、やっと半年分のデータが出てきた。これでようやく分析が出来る状況になったという事であると思いますので、今後、分析を進めて頂けるということでもよろしいですね。さすがに3ヶ月や4ヶ月だけのデータでは分析が難しいと思いますので、少しお時間をいただければと思います。</p> <p>そして何より大事なのは、実は再編により便利になった部分も数多くあるのですが、それがあまり知れ渡っていない。状況を分析しつつ、もっともっと利用してもらえるような取組みを進めていかなくてはいけないと言うことですので、ご協力いただければと思います。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは報告事項(2)について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	利用促進として、プライムツリーのプレオープンに合わせてイベント行ったとの事でした。この件につきましてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。
委 員	資料にあります、おんぱく手法とはどう言うものなのでしょうか。
事 務 局	産業振興部局の者ではございませんので、細かい事は分からないのですが、元々は九州の方で最初に考え出された手法で、市民の皆さんが自分の特技を生かした様々な講座を企画し、市内外から講座を受けたいという参加者を募るものです。内容は多種多様で、ラーメン博士とラーメンを食べに行く、マンホールを見に行く、木登りに挑戦するといった企画を実施している市町もございます。藤枝市はこのイベントがかなり定着してきており、年間数万人の人出があると聞いております。日進市は今回初めてこのイベントを実施したのですが、これが拡大すると日進市の来訪者も増えるということで、公共交通の果たす役割も大きくなると思っております。今回は、我々もそのプログラムの一つとして参加いたしました。パンフレットを回覧しますのでご覧ください。五色園の仏像修復のイベントやラーメン屋さんがチャーシューの作り方を教えてくれるといったプログラムなどがあります。
会 長	<p>ありがとうございます。地方都市などではこのようなイベントが近年盛り上がりを見せてきておまして、岐阜などでも行われております。</p> <p>この件につきましてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	<p>今回のくるりんばすイベントの申込者は55名、参加者は45名と言うことでありましたが、自由意見欄を見ますと「意外と早く着いた」とか「また使ってみたい」と言った意見もございます。こういった地道な活動も欠かせないという事でございますので、また、ご協力をお願いします。</p> <p>ただ、ほとんどがホームページからの申し込みで、広報からの申し込みが少なかった。広報は読んでではもらっているが伝わっていない、そこに問題があると思います。それでは報告事項(3)について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	これは愛知県さんの方で提出されているということですので、この件につきまして県から何かございましたら説明をお願いします。
委 員	<p>少し補足の説明をさせていただきます。幹線系統につきましては県の協議会でまとめたものを国に提出しておりますが、路線毎の評価を行う際には事業者さんや関係市町村さんからデータの提出や意見の提出をお願いしております。ですので、実際には、路線毎にかなり細かい資料を提出してもらっております。これらの資料につきましては、事前に公共交通会議を通してもらう事が理想ではあるのですが、データが揃う時期や締め切りなどの都合もあり、なかなか理想通りには運用できていないのが現状です。ただ、今回のように公共交通会議で報告をしてもらう事により、繋がりを保っていくことが出来ますので、今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>今回紹介のあった路線は、大半が日進市内を通っている路線ではございますが、乗り入れ先の長久手市さんや名古屋市さんからも意見を頂いております。この他にも日進市に乗り入れをしている路線として、星が丘-豊田線という三好のアイモールに繋がっている路線もございますので、こちらについても関心を持っていただけるとありがたいと思ひます。</p>
会 長	この件につきましてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。
委 員	日進中央線の運営主体はどこになるのでしょうか。
会 長	では、愛知県さんから回答をお願いします。
委 員	この部分につきましては県から国に報告する際にも大変迷う部分であります。と申しますのも、評価の対象期間が平成28年10月1日～平成29年9月30日までとなっておりまして、その調度半分のところで運営主体が変わっている。ですので、実態としては前半は日進市さん、後半は名鉄バスさんということになります。
会 長	<p>バスの事業年度は毎年10月1日～9月30日となっておりますので、少し混乱する部分があると思ひます。</p> <p>この幹線につきましてご意見、ご質問などはございますか。</p>
委 員	幹線については補助路線と言うことですが、どのくらいの補助金が入ってきているのでしょうか。
事 務 局	補助金につきましては国から直接名鉄バスに支払われる形となっておりますが、平成28年度の実績では約860万円が3路線に対する補助として入ってきております。

発 言 者	内 容 (要 旨)
	それ以前の状況を見ても、概ね 800 万円中盤から 900 万円程度の金額が補助金として入ってきております。
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>この3路線につきましては報告事項となっておりますが、我々に密接な関わりのある路線ですので、もっともっと利用促進に努めていく必要があります。</p> <p>それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>議題(1)について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	この件につきましてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。
委 員	<p>2つほど申し上げたいと思います。まず1つ目は評価をする際には計画との比較をしてもらいたい。期間が短いため比較が困難である事は分かりますが、実績評価は毎回出来る話なので、計画との比較と評価を行ってほしい。</p> <p>もう1点は網形成計画の策定が平成26年で既に4年ほどの期間が経過しているが、その間の実績の推移について資料の提供をお願いしたい。</p>
事 務 局	26～28の実績につきましては集計したものがあため、個別にお渡しする事は可能です。ただし、目標については再編を実施した後にこうなると言う数値を設定しているため、再編前の実績値と再編後の目標値との比較は困難です。一方でご要望の1点目の毎回の実績評価につきましては、これまでも第1回、2回、4回と会議の都度、報告をして参りました。今後も引き続き、公共交通会議の場において、数字をお示していきたいと考えておりますので、その中で平成32年度目標に対する評価を皆さんにおこなって頂きたいと考えております。評価の結果、目標の達成状況が悪いとの判断に至れば、今度は今後どのように対応していくべきかについて、この会議の中で決めて頂く流れとなります。
委 員	私たちが知りたいのは、昨年4月の改編は何が問題だったから実施されたのかについてです。その事実関係を教えてください。
会 長	基本的な部分のお話については、組織の代表としてこの会議に参加されている皆さんについては引継ぎが為されていると思います。一方で市民委員さんにつきましては、今回が初めての参加ということになりますので、背景が良く分からない。この点については事前に事務局から説明をしておく必要があると思いますが如何でしょうか。
事 務 局	これまで網形成計画や再編実施計画と言った言葉が何度か出てきていると思いますが、それらの内容も含め、一度、説明を行いたいと思います。
会 長	ご質問の1点目の評価に関しましては、今、正に評価をさせてもらっている最中ではございますが、収支率に関しては半年しか経っていないので、さすがに難しいと思います。ただ現状、利用者数が減っていることに対する原因が十分掴めていないので、そこを今後のデータを見ながらしっかりやっつけようということですので、よろしくをお願いします。

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	その他いかがでしょうか。
委 員	<p>補足的なお話になりますが、先程、幹線系統とフィーダー系統の評価に関してそれぞれ説明をしてもらったのですが、補助路線としてお金を使った以上は評価をしてもらわないといけないということで実施されるもので、評価委員から貴重な意見を機会でもあります。ただ、説明をするにあたってはフィーダー路線に絞って説明をしまうと、説明足らずとなってしまいますので、幹線も含めた形で説明をしてもらうこととなります。ですからPR出来ることはほとんどこのシートの中に盛り込んでいてもらいたいです。ただ、フィーダー路線と幹線とは分ける必要もございますので、3ページの表にはそれが分かるような目印を入れてもらいたいですし、評価にあってもフィーダー的な要素を入れてもらいたいです。また、幹線にあった別添1の資料と同じ物をフィーダー系統でも作ってもらう必要がございます。</p> <p>あと、細かい部分で言いますと資料にあるG T S Fと言う標記は、G T F Sが正しい標記となりますので訂正をお願いしたいです。また11ページのMM事業の実施についても、他の資料と同じで繰り返しの記載とはなってしまいますが、G T F S化の実施やインGRESゲームの活用についても盛り込むと良いと思いますし、民営化の取り組みについても、公共交通会議の場においてデータの提供を行っている事なども記載すると思います。</p>
会 長	<p>今のご意見につきましては対応をお願いしたいと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委 員	資料を見る限り、目標は何かと言ったらモビリティ環境を良くする、つまりは利用者数を増やすことが目的であると理解しているのですが、無料対象者を増やしているにも関わらず利用人数は減っている。また料金は上がっているが収入全体は減っている。100円が200円になったことで利用者が減っている可能性が高いので、その辺りをしっかり調べてデータとして出してもらいたい。
会 長	現段階での判断ではおっしゃる通りであるかも知れませんが、残念ながらその原因は掴めていない。
委 員	原因はハッキリしていますよ。値上げしたからじゃないですか。
会 長	値上げによる部分もありますし、例えば同時発着が無くなったとか残念ながらルートが通らなくなったとか、様々な要因がございますのでそこを掴んでいかないといけない。
委 員	1つだけ補足の説明をさせていただきたいのですが、資料の7ページをご覧ください。①に公費負担率・収支率という言葉がございますが、これまでは費用を掛けてでも利用者を増やせばいいという考えで皆が進んできたわけですが、市の財政的にそれを続けることは厳しくなってきた、そこで費用を抑えた上で利用者を増やそうと、路線を集約したり、重複の解消を図ったりしておりますので、単純に利用者を増やすことが目的ではないということをつけ加えさせて頂きたいと思います。
委 員	運行本数を減らすとか、費用を減らすにはそう言う方法もあるんじゃないですか。

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	<p>少なくとも、利用者を増やすことだけを目的とはしておりません。簡単に申しますと、例えば、朝の通勤、通学客を狙って市が朝・夕だけ住宅団地にバスを走らせれば、それも100円で走らせれば、沢山のお客さんが乗ってくれると思います。でも、それでは病院に行く、買い物に行く、免許を持っていないお年寄りを使うことは出来ません。そういう方々を拾おうとすると、昼間に駅ではない場所へ向かう必要がある。また、郊外の住んでいる人の少ない地域も走らせる必要がある。そういう意味からも数だけを目指している訳では無いことはお分かりいただけると思います。</p>
委 員	<p>意味は分かりますが、それでは目標が何か分からなくなり、後から何とでも理由がつけられるようになってしまう。</p>
会 長	<p>何かだけに目標を特化してしまうと、他が欠けてしまう。ですから評価指標として収支率や公費負担率、不満割合といったものがあり、それらを使ってバランスを考えるとということをご理解いただきたいと思います。</p>
会 長	<p>他に、ご意見、ご質問などはございませんでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>ありがとうございます。ここにつきましては議決を取る必要がございます。先程指摘がございました、フィーダー系統に対する評価やG T S FをG T F Sに修正する部分、それからMM事業の内容の拡充等につきましては我々と事務局で対応いたします。そういった修正を加えた上で国の方へ提出したいと思いますが、如何でしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは次第の最後、その他についてですが、名鉄バスさんより報告事項があるとの事ですのでよろしくお願いします。</p>
委 員	<p>(再編後、一定期間が経過した事から、混雑状況等が分かってきた。中央線のダイヤについて、より適切な時刻となるようダイヤの微修正を行うとの説明ある)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。より適切なものとなるよう対応をよろしくおねがいします。それでは「その他(くるりんばすの利用促進に向けた取組み)」について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(資料に基づき説明)</p>
会 長	<p>具体的な取組みとしてご紹介を頂きました。聞きなれないゲームの名前も出てきましたが、それなりの効果もあったようです。</p> <p>こちらにつきまして、ご意見、ご質問はございませんか</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。地道な利用促進を図りつつ、データを分析し、直すべきところは直すという風に進めていければと思います。</p>
会 長	<p>その他、全体を通じてご意見、ご質問などはございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>今日、会議に参加するにあたって、くるりんばすで来ましたが、バスの到着時間が14:04であったため、図書館などで時間をつぶすか、遅刻するかのどちらかになって</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	<p>しまった。会議の開始時間をくるりんばすのダイヤに合わせることは出来ませんか</p> <p>2時15分など、時間を調整して開催する事もありますが、もし、早く着くようであれば、是非ともこの市役所周辺を散策してもらいたい。にぎわい交流館や図書館などもございますので、そういう過ごし方をしてもらおうと良いなと思います。</p> <p>その他、ご意見、ご質問などはございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>本日は活発なご議論ありがとうございました</p> <p>それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事 務 局	<p>長時間にわたるご審議をありがとうございました。</p>
	<p>(閉会 16時16分)</p>